

# あおり



## CONTENTS 目次

特集 ▶ P2-5

### 身近にできる!健康づくり

旬を食べよう。あおり野菜で簡単ヘルシークッキング/  
青森さらりイッピン 私が出会った青森のイッピン ▶P6

平成28年 社会生活基本調査実施のお知らせ/  
「白神まるごと体験博覧会」絶賛開催中!/  
「野菜を食べようキャンペーン」はじまります! ▶P7

申吾のほっとコラム/あおりインフォメーション ▶P8



### 温故知新! 縄文ポシエツト

平成5年に三内丸山遺跡から出土した約5500年前の「縄文ポシエツト」。幅7cm、高さ13cmの小さながごですが、縄文時代の遺跡から出土した編組製品のなかで、ここまで立体的な形がわかるものは全国でも例がありません。平成15年には、重要文化財に指定されました。ヒバなどのヒノキ科の木の皮をテープ状に加工し、はじめに底の部分を四角形に編んでいることがわかります。編み方は、現代のあげびづる細工などのかごにも用いられる網代編。縄文人の卓越したデザインセンスは、多くのクリエイターたちを刺激し、最近では大手バッグメーカーが縄文ポシエツトをモチーフにしたバッグを限定販売しました。

自然と共生しながら知恵や技術を生かし、仲間と力を合わせて1万年以上も続いた縄文人の暮らしは、現代に生きる私たちに大切なメッセージを伝えてくれます。そうした価値を世界中に伝え、後世につないでいくために青森県は、北海道・岩手県・秋田県と共同で、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録をめざし取組を進めています。

▼関連記事はd16p2